



# JARA NEWS

January 2019, No. 131

from  
Japan Automotive Recyclers Alliance  
www.jara.co.jp

Published by JARA Corporation

Tokyo Head Office: 1 F. Yaesu KT Bldg. 1-1-8,  
Yaesu, Chuo-ku, Tokyo JAPAN 103-0028  
Phone: +81 3 3548 3010 / Fax: +81 3 3231 4690

## ニューデリーで 第11回アジア自動車環境フォーラム、 自動車メーカーとの連携不可欠

アジア地域の自動車リサイクル国際会議「第11回アジア自動車環境フォーラム(AAEF)」がこのほど、インド・ニューデリーで開催された。AAEFがインドで開催されるのは今回が初めて。持続可能な社会をテーマに、各国の自動車リサイクル事業者や行政、学術機関、自動車メーカーなどの関係者約200人が参加し、各国の自動車リサイクルの現状や施策などについて報告と議論を展開した。

AAEFは、毎年アジア各国で開催される。開催国のインドからは、インド自動車工業会(SIAM)やインド金属リサイクル工業会(MRAI)の理事や関係者が出席した。日本勢は、アジア自動車環境フォーラム日本委員会(委員長=劉庭秀東北大学大学院教授)、NPO法人全日本自動車リサイクル事業連合(NPO・JARA、高橋敏理事長)の



各国の発表に質問が相次いだ

理事や会員らをはじめ、豊田通商やコベルコ建機、自動車メーカーの関係者、JARA会員などが参加した。

### ◆急成長に対応するインド

オープニングセッションで最初に登壇した劉教授は、各国の自動車リサイクルを取り巻く環境の変化に対応する必要があると前置きしたうえで「AAEFは、日本・中国・韓国を中心に、マレーシア・オーストラリア・モンゴルなどが中心メンバーとして加わった。東南アジアや中南米、アフリカ諸国からも出席者があったが、これからAAEFをさらに大きくしていく必要がある」と述べた。そして「新しいメンバーとしてインドが加わったことは非常に良いことだ」と歓迎の意を示した。

急速な経済成長を続けるインドの新車市場は、現在の約400万台から30年には約1千万台へ拡大する見通しで、使用済み自動車が大量に発生することが予測される。

SIAMのリサイクルグループの担当者は「インドは年式の古い車が多く、大気汚染が懸念されている。インド政府は、低年式車の買い替え促進を検討し始めている」と現状を話した。現在、インドの使用済み車の適正処理は、主に都市部に立地する中小規模のリサイクル事業者が手がけている。しかし「代替が進んで、使用済み車が大量に発生しても、中小事業者だけでは処理能力を持っていない。電装品の適正処理も対応できない状況だ」と指摘する。

このなかで、SIAMはインド政府・重工業協会と連携して、先進的な自動車リサイクルシステムの構築に取り組んでいる。チェンナイ近郊に、最新設備を備えた解体工場を設立し、使用済み車の適正処理を加速させる。

また、インド自動車調査協会(ARAI)とSIAM

は、使用済み車の適正な解体と重金属の使用削減への政策作りに力を入れると同時に、自動車メーカーとリサイクル事業者との協力体制の構築が必要と認識している。

### ◆自動車リサイクルの重要性に対する認識高まる

自動車リサイクル先進国である日本の状況については、出席者間で関心が高い。劉教授は、課題や取り組みを解説した。現在、中古ハイブリッド車(HV)の多くが日本からモンゴルやミャンマー、パキスタンなどに輸出されている。環境汚染対策としての役割を果たす一方、「現地の中古HVが使用済み車となった際の国際資源循環問題や越境環境問題につながる可能性がある」との認識を示した。また、世界各地で自然災害に見舞われる状況で、日本では自動車リサイクル促進センター(JARC)は環境省と連携して、災害で被災した自動車の適正処理を円滑に進めるマニュアルを作成していることを報告した。

中国による廃棄物輸入規制の影響として、日本から雑品類や電装品の輸出が難しくなると予測した。また、中国国内でも環境規制や取り締まりを強化していることを背景に、中国の自動車リサイクル産業にも様々な影響を与える可能性を指摘する。さらに、「今後は、アジア各国で環境規制がより強化されることが予想されるなか、発展途上国における自動車リサイクルと制度づくり、日本の技術協力と支援が期待されている」との見解を示した。

経済発展が続くアジア各国では、自動車リサイクルの重要性に対する認識が高まっている。AAEF参加国の中には、日本と同様なリサイクル施設も移動しており、使用済み車の適正な処理を通じた環境保全が期待されている。

(日刊自動車新聞12月6日)



東北大学大学院劉庭秀教授が開会宣言した

## CO2削減数値(SPLシステム)

リユースパーツ使用によるCO2削減効果参考値 平成30年11月

# 3,088t

※一般、中・大型含む車を修理する際、新品部品を使用して修理する場合に出るCO2排出量とリサイクル部品を使用して修理する場合のCO2排出量の差がCO2削減数値になります。一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会と早稲田大学環境総合研究センターがLCA(ライフ・サイクル・アセスメント)の考え方に基づき共同開発した「グリーンポイントシステム」より参照。  
了「Green Point System」。



日本から多数の関係者が参加



リビルド部品などを協賛企業の商品を展示

### JARA、提携企業とお台場旧車天国に出展

JARA(北島宗尚社長、東京都中央区)は、このほど都内で開催された「お台場旧車天国2018」に出展した。提携するリビルド部品メーカーと共同で、リサイクル部品の広報活動を展開した。

協賛企業は、リンクスジャパン、ターボテクノサービス、ティー・エー・エス横浜ジェネレーター事業部、創新の4社。

ブースには、ターボチャージャーのカットモデルやエアコンコンプレッサー、スターターなど協賛企業の取扱部品などの展示に加え、リサイクル部品を紹介するチラシなどを用意した。イベントには、昭和世代のクラシックカーをを所有しているユーザーも多く来場しており、取り扱うリサイクル部品に対する問い合わせが相次ぐなど、ブースは賑わいを見せた。

JARAでは「ユーザーに直接、低価格で保証付きのリビルド部品、リユース部品を知ってもらう機会となった」と話している。

(日刊自動車新聞12月13日)

### 廃車ガラ破碎工程に遅れ、中国の廃プラ輸入禁止が影響

自動車リサイクルにおける廃車ガラの破碎工程で遅れが生じている。解体事業者からシュレッダー業者に引き渡されたものの滞留している件数が、直近10月は前年同月比7・5%増の26万2459件となっている。中国での廃棄物輸入規制、廃棄プラスチックの輸入禁止措置が背景にあると見られる。家電製品などのシュレッダーダスト(SR)の増加が自動車のシュレッダーダスト(ASR)の適正処理に影響が及んでいるようだ。

廃車ガラの破碎は新車販売に連動して3、4月にピークを迎え、その後は減少に向かうのが通例だ。変調を来し始めたのが昨春。中国が2017年6月から廃棄物輸入規制を始めたことが影響し、3、4月のピーク水準が下がることなく推移する状況が続いた。同年12月には廃プラの輸入も禁止。これまで中国頼みだった廃家電などの雑品スクラップや廃プラなどが行き場のない廃棄物として国内に滞留することになった。

結果として、こうした廃棄物や使用済み自動車を破碎する業者における工程が大きな影響を受けている。このため「一部の破碎事業者は取引



引き取り量を抑え始めている事業者もいる

量を抑えたいと通知しているところもある」(自動車リサイクル促進センター)という。

今後の先行きも不透明感が漂う。廃プラの輸入規制はタイやマレーシア、ベトナムでも始まっているからだ。環境省によると日本の廃プラの総排出量は900万トン。このうち中国への輸出量は140万トンだという。ASRは年間60万トンであり、廃プラの発生量が突出している。

今後、中国や東南アジアに輸出できない大量の廃棄物が滞留することになれば「事業者が音を立てて大きな問題になる」(同)可能性も否定できない。これまで海外に頼ってきた日本の自動車リサイクルに与える影響が大きくなることも懸念される。

(日刊自動車新聞12月6日)

### 豊田通商、南米での炭酸リチウム生産能力増強

豊田通商は、リチウム資源開発の豪オロコブレ社と共同で実施しているアルゼンチンでの炭酸リチウムの生産能力を拡大すると発表した。2020年までに2億9500万ドル(約334億円)を投じて製造プラントなどを追加導入し、年産能力を現在の1・7倍に高める。電気自動車(EV)化に伴う需要増に対応する。

14年からアルゼンチンのオラロス塩湖の地下から金属炭酸塩を含む海水をくみ上げ、蒸発・濃縮し炭酸リチウムを生産している。今後、一連の生産設備を追加導入し、年産能力を2万5千トン増の4万2500トンに引き上げる。また、増産分のうち、EVでの出力増が見込まれる水酸化リチウム向けにも一部生産を振り向ける。

(日刊自動車新聞12月4日)

### 今年の使用済み車引き取り見通し、2年連続のプラス

2018年暦年の使用済み自動車引取台数が2年連続で前年実績を超える見込みとなった。自

動車リサイクル促進センター(JARC)がまとめた11月実績は前年同月比2・9%増の27万8446台。1~11月累計では308万5669台となり、仮に12月が前年水準で推移したとすると、前年を約9万台上回る336万台に達する状況となっている。今年は稼働日数の少なかった9月を除くすべての月で前年実績を上回っており、堅調なスクラップ相場や新車販売が使用済み車の発生量を下支えた。

18年の暦年実績が330万台を超えとなると、消費増税前の駆け込みで新車販売が伸びた14年以來4年ぶりとなる。今年も堅調な新車販売が引取台数の押し上げ要因となっている状況だ。1~11月の新車販売(軽自動車含む)は前年同期比0・9%増の488万4542台。2年連続で500万台を超える見込みであることが使用済み車の発生を促している。

高値安定で推移するスクラップ相場も寄与している。資源価格の上昇は16年11月ごろから継続しており、足元でも3万2千~3万3千円前後で取引されている状況だ。また、今夏に発生した自然災害に起因する増加要因もある。生活再建が一段落した10月ごろから被災地域を中心に引取台数が増えている。

18年暦年の引取台数は2年連続で上回る事が確実な情勢となった。JARCは18年度の引取台数について前年度比2・6%増の339万台を見込んでいるが、このままプラス基調で推移すれば年度ベースでも前年実績超えが見えてくる。

(日刊自動車新聞12月20日)



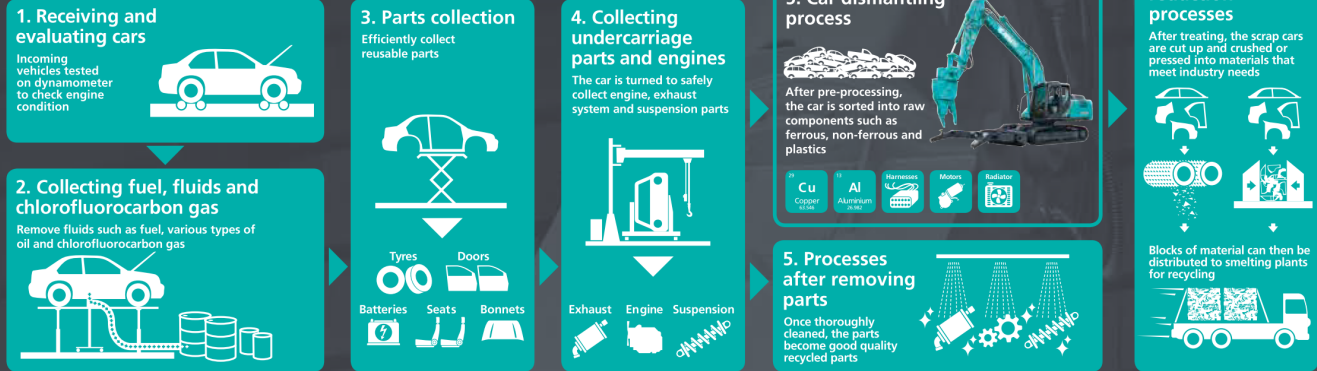
使用済み車の台数が4年ぶりに330万台を超えそう





## Dismantling process flow chart

How the Car Dismantling machine works



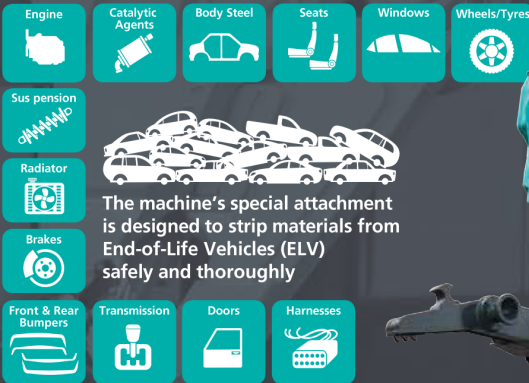
## The Evolution of car dismantling industry by Kobelco

Four times\* the vehicle dismantling capability compared with hand dismantling.

\* In one day (Kobelco test figures)

**15 vehicles >**  
One operative working by hand.

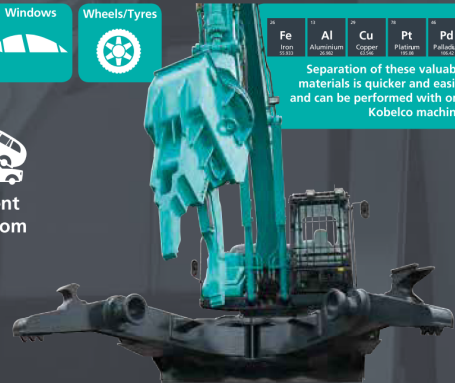
**60 vehicles >**  
One operative in a Kobelco Car Dismantling machine.



Improved recovery rate of rare earth metals

Fe Iron	Al Aluminum	Cu Copper	Pt Platinum	Pd Palladium
------------	----------------	--------------	----------------	-----------------

Separation of these valuable materials is quicker and easier and can be performed with one Kobelco machine.



<b>コベルコ建機株式会社</b> <a href="http://www.kobelco-kenki.co.jp/">www.kobelco-kenki.co.jp/</a>	For Japan	<b>成都神鋼工程机械(集团)有限公司</b> <a href="http://www.kobelco-jianji.com/">www.kobelco-jianji.com/</a>	For China
<b>(주)삼정건설기계</b> <a href="http://www.samjung-kenki.co.kr/">www.samjung-kenki.co.kr/</a>	For Korea	<b>KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY U.S.A. INC.</b> <a href="http://www.kobelco-usa.com/">www.kobelco-usa.com/</a>	For North America
<b>KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY AUSTRALIA PTY LTD</b> <a href="http://www.kobelco.com.au/">www.kobelco.com.au/</a>	For Australia	<b>KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY EUROPE B.V.</b> <a href="http://www.kobelco-europe.com/">www.kobelco-europe.com/</a>	For Europe
<b>FAIR FRIEND ENTERPRISE CO.,LTD.</b> <a href="http://www.ffg-tw.com/">www.ffg-tw.com/</a>	For Taiwan		